

## 教えて!ナナキダ先生!!



天気の良い日はお子さんを連れて外に出かけたくありませんか。さて、そういう時には、どこに出かけますか。お子さんを連れてショッピングセンターもいいかもしれませんが、できるだけ自然に触れる機会を作った方が良さそうです。自然というと、登山や海などの大自然を連想しますが、子供たちは、大人と違って、どんな小さな自然でも面白そうに遊びます。なぜ自然との触れ合いは、子供の育ちにいいのでしょうか?これにはいろいろな研究があります。

その中で、私が今のところ好きな理由の一つは、自然の中で一緒に過ごす大人が清々しい気持ちになって、子供と接するのに気持ちの余裕が生まれるから、というものです。みなさんは、どうですか?

七木田 敦先生

広島大学大学院人間社会科学研究科 教授/研究分野は、幼児教育学、特別支援教育学/子育て支援、幼児教育等に関する著書・研究多数



## おしえて!先輩パパ・ママ 身近な自然遊びのアイデア

### 落ち葉でお絵かき

ポリ袋やお散歩バッグを持って出かけ、拾った落ち葉や木の実を使っていろいろな絵画を作ってみましょう。見立て遊びで想像力を養います。

#### memo

色だけでなく、ざらざら、ツルツルなど触感の違いも感じながら遊べるよう声かけをしています♪(Aさん)



### 今日の空は どんな色?

時間帯や天気、季節によって変わる空の色を、色鉛筆や水彩絵具で再現。

この色とこの色を混ぜるとどんな色?夕方になると空がオレンジになるのはなぜ?など発見が生まれます。



#### memo

空の色が特徴的な時はなるべくスマホで写真を撮っておき、子供と一緒に色の作り方を考えています(Bさん)

#### 学びPOINT

泥・砂遊びや絵の具遊びでは、子供が体全体で自然にぶつかるような意欲的な遊び方ができるよう、汚れることを気にしすぎないように見守れると良いですね。



家庭でできるアイデアたくさん!  
ぜひ見に来てね! ▶▶▶▶

親子コミひろしまネット

親子コミ



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/>



家族と一緒に学ぼう

幼児(3~5歳)シリーズ ⑩自然や生き物との関わり編

# 「遊ぶ」は「学ぶ」



自然の中で  
子供が感じることを  
大事にしてあげたいね

どんな関わり方を  
すればいいだろう?  
中を読んでみよう!

遊び 学び 育つ ひろしまっ子! 🌱

広島県教育委員会乳幼児教育支援センター

次ページで  
ご紹介!

# 5 歳の力を育む関わり方

子供にとって遊びや日々の生活の全てが学びです!

「遊び」や「生活」は子供にとって**探究の宝庫**。遊びや生活の中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、困難を乗り越えること、人と関わることを繰り返し経験することが、**主体的に学び続けること**につながります。親子で自然とのふれあいを楽しむ中で、子供の好奇心や探究心が刺激されます。子供と一緒に喜んだり、驚いたりしながら、共感的に寄り添うことが子供の「なぜ？」を伸ばすことにつながります。

乳幼児期に育みたい  
**5つの力**

感じる・  
気付く力

うごく力

考える力

やりぬく力

人と  
かかわる力

3歳ごろ～

うさぎのみか  
みたいたよ



本当だ!  
○○くん、ウサギに  
なったみたい

近所の公園や毎日通る道も、自然に親しむ絶好の場所!

身の回りの水・土・生き物などに関わる中で自然の面白さや不思議さを感じるようになってきます。普段遊んでいる公園や散歩で通る道も少し見方を変えるとたくさん発見や驚きに満ちています。子供が自然の中で発見したことを一緒に驚いたり楽しんだりしながら、**共感的に関わる**ことがポイントです。葉っぱや花、木の実を集めているときに「たくさん集めたね」「おもしろい形の葉っぱだね」など、子供が感じていることや思いを言葉にしてみると良いですね。

感じる・  
気付く力

うごく力

人と  
かかわる力

子供の発達には個人差が大きく、環境によっても異なります。子供の個性や発達のペースを大切に、温かく見守っていきましょう。

5歳ごろ～

おおきくなれ



もうすぐ  
食べられるね。  
みんなで一緒に  
食べようね!

植物や昆虫を育てる中で  
自然との関わりや命を尊重する気持ちを育む

季節の変化と一緒に楽しむ中で、自然の不思議さや生命の尊さに気付き、興味・関心をもち始めます。また、身近な植物や昆虫の世話をしたり、成長や死を経験する中で「命を大切にする」という思いや「生き物に対する愛着」が育まれます。子供と一緒に生き物の成長を喜び、時には死んだ生き物に対して悲しみ、「野菜が大きくなってきたね、うれしいね」「虫さんが死んでしまって悲しいね」など子供の気持ちを言葉にすることを心がけてみましょう。

感じる・  
気付く力

考える力

やりぬく力

人と  
かかわる力

4歳ごろ～

子供の「なぜ？」に共感して、一緒に考える

身近な自然に興味をもち、触れたり、観察したりして楽しむようになってきます。植物や虫を見つけて「この虫の名前は何か?」「なんでこのドングリは穴が開いているの?」と疑問をもち始めます。その時は、「不思議だね」「あとで図鑑でみてみよう」「スマートフォンで写真を撮って、拡大してみよう」と、子供の知りたいという気持ちに寄り添って一緒に考えてみると良いですね。

感じる・  
気付く力

うごく力

考える力

人と  
かかわる力

あとで図鑑で  
みてみよう!



このむし、  
なにしているの?



ここが  
ポイント!



五感で自然を楽しもう!  
見て、聞いて、触れて、嗅いで、味わって、自然を満喫!例えば、鳥の鳴き声、木の葉が風に揺れる音など外は家の中とは全く異なる音もたくさん!様々な自然との体験が子供の感受性を豊かに育ててくれます。